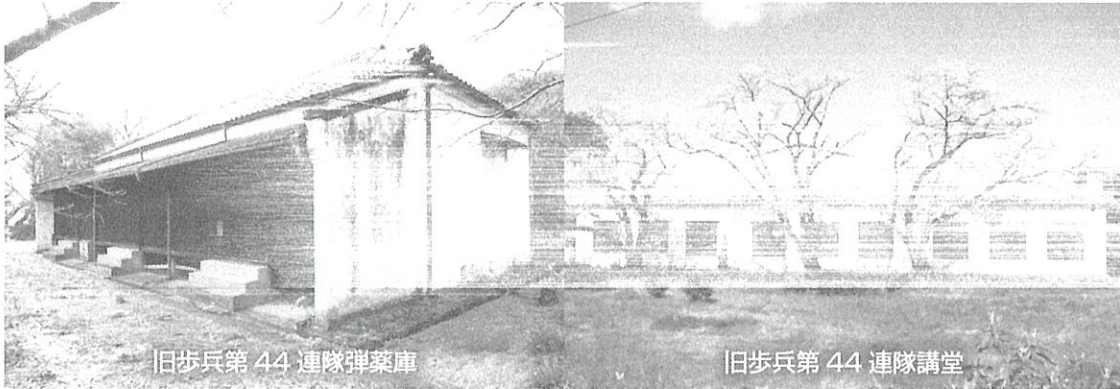


2017/8/19(土)▶21(日)

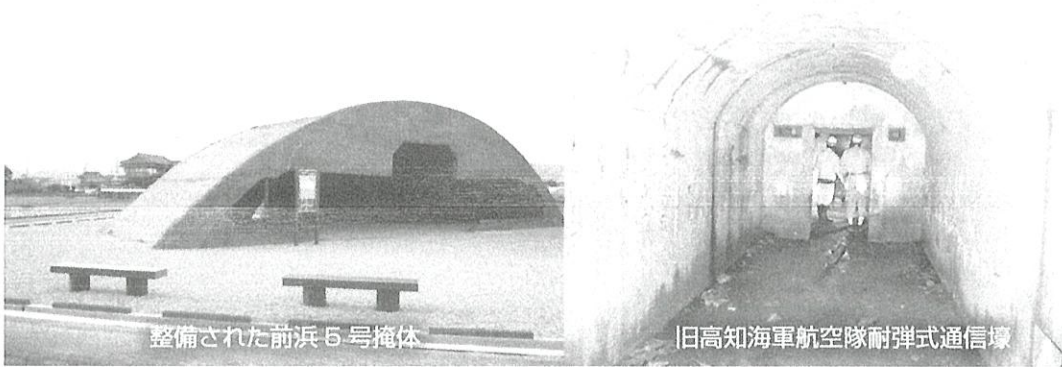
第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

今こそ戦争遺跡を平和のために



旧歩兵第44連隊弾薬庫

旧歩兵第44連隊講堂



整備された前浜5号掩体

旧高知海軍航空隊耐弾式通信壕

2017年の戦争遺跡全国シンポジウムは、高知市で開催されます。高知は自由民権運動の発祥の地であり「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われております。

高知市はアジア・太平洋戦争末期、7月4日の大空襲により市街地の大半が灰燼に帰し438名^{かいじん}の命が失われました。高知平野は、当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られました。それらの多くは実際に使われることはありませんでしたが、72年の歳月を経ても戦争の実相、虚しさを今日に伝えております。

高知での全国シンポジウムは、2000年の第4回南国市大会以来17年振りとなります。その間、旧高知海軍航空隊の残存掩体7基のすべてが南国市史跡となるなど大きな成果も見られました。確認された戦争遺跡も飛躍的に増加しましたが、新たな課題も生じています。特に旧歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の保存は急を要しています。全国の取組みに学びながら前進させたいと思います。

全国シンポジウムは今年で21回を迎え、指定・登録の戦争遺跡は267件となり、その存在は広く知られるようになりました。しかし平和のために戦争遺跡を学び、保存、継承していくことの今日的意義は益々大きくなっています。今回の全国シンポジウムが、戦争遺跡の調査研究や保存の進展、交流の機会となるよう努めたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催 / 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ
高知新聞社 朝日新聞高知総局 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局 産経新聞社高知支局

日 程

2017年8月19日(土) (於 高知県民文化ホールグリーン)

I 全体会

受付 12:00~

全体集会 13:00~

記念講演 公文 豪 氏

「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」

基調報告 十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

地域報告

II 全国交流集会

高知会館 18:00~

2017年8月20日(日) (於 高知県民文化ホール多目的室)

I 分科会 9:00~15:10

分科会①「保存運動の現状と課題」

分科会②「調査の方法と整備技術」

分科会③「平和博物館と次世代への継承」

II 閉会集会 15:30~16:10

2017年8月21日(月)

戦争遺跡見学会 午前中

● 参加費

一般 1日 1,000円

学生 1日 500円

● 申込・問い合わせ

現地実行委員会事務局

平和資料館・草の家

〒780-0861

高知市升形9-11

TEL 088-875-1275

FAX 088-821-0586

Eアドレス

GRH@ma1.seikyoku.ne.jp

公文 豪 氏

1948年生 (68歳)。

野市町議会議員・高知県議会議員を経て、現在は高知近代史研究会会長、土佐史談会副会長、高知大学非常勤講師。

著書 『民権ばあさん・

楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガイド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を講義している。

